

ASABU

広報あつさぶ

2017.1

637号

良い年となりますように...

Assabu Public Relations

迎春
西

【表紙：『大山祇神社新嘗祭並びに年越祭』より～関連記事12ページ】



新春
特集

行く年 あっさぶの 一年



道の駅『あっさぶ』



▲8月13日「売上額最高記録」を更新(9月号)

▲国土交通省「重点道の駅」に認定(3月号)

▼雨にも負けず「鶉温泉まつり」開催(8月号)

▼満開の桜の下「館城跡まつり」開催(6月号)



厚沢部町 4 大まつり盛況に開催



▲豊穰に感謝「農協まつり大収穫祭」(11月号)

▲大勢が訪れた「ふるさと夏まつり」(9月号)



『コロッケ』をPR



▲ジャンボコロッケが絵本に(11月号)

▲メイクインコロッケコンテスト(4月号)

2016年の厚沢部町の主な出来事を『広報あっさぶ』でふりかえります。

と き
時 間
を
刻 む

2016年のあゆみ



日本ハムイベント



▲厚沢部後援会が「祝勝会」を開催(12月号)

▲「あなたの街とファイターズ」開催(7月号)

▼中部学院大学短期大学の9名(10月号)

▼法政大学現代福祉学部 of 5名(3月号)



道外の大学生が厚沢部町で学ぶ



▲奈良教育大学の6名(12月号)



▲愛知学院大学経営学部の6名(10月号)



厚沢部町が全国に 放送されました



▲5月30日、NHK「鶴瓶の家族に乾杯(毎週月曜午後7時30分より)」で全国放送されました。
(写真は4月27日のロケ風景。広報あさぶでは放送日前のため掲載を自粛しました)

2016年も広報あさぶをご覧いただき誠にありがとうございました。

「幸せを実感できる
まちづくり」に
今年も全力で



厚沢部町長
洪田正己

町民の皆様、明けましてお
めでとございます。

希望に満ちた平成29年の輝
かしい新春を皆様と共に迎え
られますことを心からお慶び
申し上げます。

一昨年、私は町民皆様の温
かいご支持をいただきまして
無投票当選の榮に浴し、本年
3期2年目を迎えました。町
政を担う責任の重さをかみし
め、これからも全力で町政の
発展と町民皆様が、真に幸せ
を実感できるまちづくりに全
力を取り組んでいく決意を新
たにしております。

◇ ◇ ◇

昨年は、日本各地で地震や
豪雨、台風による自然災害が
多かった年であります。

特に、4月に発生した熊本

地震では、2度の地震発生で
住家の倒壊による多くの死傷
者と住民避難を余儀なくされ
ました。

北海道では、8月に連続し
て4つもの台風が上陸、通過
し、台風10号では道東を中心
に甚大な被害をもたらしまし
た。本町もこの台風の影響に
より、農作物を中心に被害を
受けました。

近年の台風をはじめとした
自然災害が頻繁に発生する要
因は、地球の温暖化とも言わ
れていますが、今年は安定し
た気候に恵
まれ、安心し
て暮らせる
ことを切に
願うもので
あります。



◇ ◇ ◇
昨年は、第3次安倍再改造
内閣が発足し「未来チャレン
ジ内閣」と命名。早期デフレ脱
却に努めるため、経済を最優
先課題として、未来への投資
を大胆に行う第2次補正予算
が成立しました。

本町においても地方創生総
合戦略の施策へ積極的に活用
していく考えであります。

本町は、4つの基本目標を
定め、今後5年間の総合戦略
を策定しました。

総合戦略では、25年後の目
標人口を3,000人と定め
住みよい厚沢部町を築いてい
くための様々な施策を積極的
に展開してまいります。

また、本年8月稼働を目指
し、学校給食や保育所、高齢者

謹賀新年



副町長
松橋道雄



教育長
中井文夫

◆総務政策課

課長 兼
住民運動係長
主 幹 朝倉秀美

総務係長 小西智晴

総務係 福田亜矢子

住民運動係 鈴木美咲

住民運動係 東谷幸弘

住民運動係 川瀬皓太

政策振興係長 三戸康彰

総務政策課主査
(再任用) 佐藤正秀

総務政策課付 石井淳平

◆税務財政課

課長 竹中孝子

主 幹 兼
経理管財係長 石村和子

財政係長 安田光

財政係 吉田友耶

課税収納係長 藤田智美

課税収納係 船瀬祥太

課税収納係 大山剛弘

課税収納係 堂下貴宏

◆保健福祉課

課長 笹森浩明

主 幹 三橋玲子

主 幹 朝倉なおみ

主 幹 兼
福祉係長 齊藤紋子

福祉係 木村千律

福祉係 太田聡子

福祉係 板坂勇

福祉係 丸山祐樹

福祉係 石田和子

福祉係 藤岡智恵

福祉係 佐藤淳哉

福祉係 並川麻子

福祉係 奈良陽子

福祉係 菊池麗奈

福祉係 中里孝子

福祉係 小森賢人

福祉係 森 ゆかり

福祉係 増田聡

福祉係 木口孝志

昨年を顧みますと、細胞内のたんぱく質を分解する仕組み(オートファジー)を解明した大隅良典東京工業大学栄誉

教授がノーベル生理学・医学賞を受賞されました。今回の受賞により日本人ノーベル賞受賞者は25人となりました。2001年以降では日本人科学系のノーベル賞受賞者が16人。アメリカに次いで世界第2位となり日本科学の水準の高さを示すものであります。

また、リオデジャネイロオリンピックが開催され、日本は金12個を含む41個のメダルを獲得し、過去最高の成績となり、粘り強く最後まで諦めない選手のひたむきな姿は、私たちに感動を与えてくれました。

また、プロ野球では、北海道日本ハムファイターズが10年ぶりの日本一に輝き、サッカーでは、北海道コンサドーレ札幌がJ2優勝により、5年ぶりのJ1昇格となり、北海道民として誇りに思う明るい出来事でありました。

昨年3月26日、待望の北海道新幹線が開業いたしました。開業から9カ月が経ちましたが、これまでの在来線を大幅に上回る本州からの利用客があり、道南各地への観光客の流れも多く、国土交通省から重点指定を受けた当町の『道の駅』では、利用客数と販売額とも増加しました。

檜山の玄関
口である『道の
駅あつさぶ』の
更なる拡充を
図っていく考
えであります。



そもそも鳥という動物は、
闇を払つて太陽を呼び出す力
があるとされ、豊かな実りの
象徴ともされてきたようであ
す。鳥は神のおつかいでもあ
り、神社の「鳥居」は、神の入口
という意味で、伊勢神宮には、
多くの鶏がいます。

また、鶏は夜鳴きをしない
ことから子どもの夜鳴き封じ
や咳止めにも霊驗があるとい
われ、卵を温め育てる姿も相
まって、生育のお守りとして
尊ばれ、子孫繁栄、家内安全な
どを祈願して鶏の絵馬を奉納
するところもあるそうです。

町民の皆さまの、ご健康と
ご多幸を心からお祈り申し上
げ、年頭の挨拶といたします。

新年のご挨拶

厚沢部町議会議長

鈴木祥司



新年明けましておめでとう
ございます。

輝かしい平成29年の新春を
町民の皆様と共に迎えられま
すことを心からお慶び申し上
げます。

併せて、皆様には日頃から
議会に對しまして、温かいご
理解とご協力をいただき心か
ら厚くお礼申し上げます

さて、昨年を振り返ってみ

ますと、国政においては、有権
者を18歳まで引き下げた初の
国政選挙である第24回参議院
議員通常選挙が執行されまし
た。消費増税の延期やアベノ
ミクスを争点に、若者の関心
が問われた選挙でしたが、18、
19歳の抽出調査では約45%の
投票率にとどまり、結果につ
きましては、自・公与党が改選
過半数を上回る結果となりました。

また、11月にはアメリカ合

衆国大統領選挙で、大方の予
想を覆しトランプ氏が勝利。
昨年、大筋合意に至ったTP
P（環太平洋パートナーシッ
プ）協定からの離脱を明言し、
もし実行に移されれば、海外
からの安価な農作物の流通は
無くなるかも知れませんが、
将来的には日本全体の成長戦
略の行き詰まりが懸念されま
す。

このように日本社会を取り
巻く環境が著しく変化する中
で、地方行政の果たすべき役
割と責任は、益々大きく、少子
化の流れに歯止めをかけ、将
来にわたって活力ある社会を
維持していくためには、地域
の自主性、主体性を発揮した
地方創生の取組を推進してい
くことが重要であると考えま
す。

議会といたしましても、よ
り開かれたわかりやすい議会



副議長
加藤古志男

▼総務文教常任委員会

委員長 佐々木 宏

副委員長 下川部 洋 伸

委員 加藤 古志男

委員 浜塚 久好

▼産業厚生常任委員会

委員長 高田 一 弥

副委員長 松村 松 雄

委員 中山 俊 勝

委員 只野 勲

委員 山崎 孝

運営を行いながら、行政運営
の監視とチェック機能の強化

を図り、厚沢部町に生まれ
育ったことに誇りと自信を持
てる「安全で安心して暮らせ
るまちづくり」のために、その
職責を果たしてまいります所
存です。

本年もご支援とご協力を賜
りますようお願い申し上げます。
迎えました新年が皆様にとつ
て素晴らしい年でありますよ
うご祈念いたしまして年頭の
挨拶といたします。

◆国保病院

院長 佐々木 紀仁

副院長 木村 一隆

医師 南田 英俊

事務 森田 幸生

兼事務 北川 幸太

兼事務 林川 慶太

兼事務 道本 洋子

兼事務 坂本 和晃

兼事務 金澤 潤子

兼事務 松橋 和子

兼事務 中島 育子

兼事務 丹保 麻美

兼事務 鈴木 ゆきみ

兼事務 中川 麻子

兼事務 桜井 江利子

兼事務 溝口 真由美

兼事務 高杉 珠美

兼事務 國仙 裕美子

兼事務 山田 若子

兼事務 蛇名 志里絵

兼事務 大滝 美由紀

兼事務 岩田 美千代

兼事務 宮越 久美子

兼事務 下川部 紀子

兼事務 丸山 奈知子

兼事務 署長 相馬 優

兼事務 主幹 福田 昭浩

兼事務 主幹 中山 博之

兼事務 主幹 松原 茂樹

兼事務 主幹 庄山 一輝

兼事務 主幹 唯山 大介

兼事務 主幹 松神 雅朗

兼事務 主幹 兼警防係

◆警防係

警防係 森山 泰風

警防係 佐々木 智也

警防係 三崎 慶智

警防係 酒井 遵樹

警防係 下川部 純生

警防係 並川 光純

警防係 加澤 寛明

警防係 太田 稔久

警防係 柴田 直行

警防係 尾山 君兆

警防係 中井 文夫

警防係 佐藤 祐子

警防係 谷口 智則

警防係 東谷 弥生

警防係 相良 一之

警防係 外崎 明之

警防係 佐藤 龍也

警防係 松橋 保美

警防係 高田 隆美

警防係 佐藤 美登子

警防係 下川部 洋

警防係 吉田 藍

警防係 奈良 正人

警防係 小野寺 孔

警防係 青山 隆

警防係 下川部 耕二

警防係 木口 幸弘

警防係 廣田 誠

警防係 佐藤 征勝

警防係 鷺田 寿永

警防係 田畑 敏幸

警防係 木村 彦

警防係 兼警防係

◆農業委員会(議席番号順)

会長 相良 一之

会長代理 外崎 明之

委員 佐藤 龍也

委員 松橋 保美

委員 高田 隆美

委員 佐藤 美登子

委員 下川部 洋

委員 吉田 藍

委員 奈良 正人

委員 小野寺 孔

委員 青山 隆

委員 下川部 耕二

委員 木口 幸弘

委員 廣田 誠

委員 佐藤 征勝

委員 鷺田 寿永

委員 田畑 敏幸

委員 木村 彦

委員 兼警防係

委員 兼警防係

農業委員会だより

Vol.90



厚沢部町農業委員長
相 良 一 之

新年あけましておめでとう
ございます。年頭にあたり謹
んで新年のご挨拶を申し上げ
ます。また、日頃より農業委員
会活動にご理解とご協力を賜
り厚くお礼申し上げます。

昨年は、台風10号直撃によ
り倒状の目立つ箇所が各地域
で見られました。被害にあわ
れた皆様にお見舞い申し上げ
ます。全体として見れば、その
後大雨に見舞われるなどの大
きな自然災害はなく、作柄は
まずまずだったのではないで
しょうか。

さて、今年は農業委員会に
とって重要な年になります。
それは当町にとって農業委員
会制度改正後、初めて町長に
よる選任制(議会の同意を得
て任命)が行われるからです。

農業委員の募集内容につい
ては、後ほど町広報誌やホー
ムページなどでお知らせしま
すので、ご確認いただければ
と思います。

選任後は、これまでの任意
事務であった「農地等の利用
最適化(担い手への農地利用
の集積・集約化、耕作放棄地の
発生防止・解消、新規参入の促
進)の推進」が必須業務とな
り、新体制の農業委員会の責
務は、より一層重くなります。
現体制の農業委員会は本年7
月19日迄の任期となりますが
「農地の番人」として高い中立
性を保ち、地域から信頼を得
られるよう引き続き誠心誠意
取り組んでまいります。

農業は、従事者の高齢化、後
継者不足、鳥獣被害、自然災害
による農地、農作物等被害対
策など課題が山積していま
す。農業者が将来に希望を持
ち、持続的かつ発展性のある
農業経営のため、長期的な観

▼農業者年金、売買・貸借・相続な
ど農地に関することは、農業委
員会事務局(☎64・3314)
へご相談ください。

点と実効性のある政策と支援
が必要であると考えます。
本年も、くれぐれも農作業
事故や農業事故などを起こさ
ないよう十分気をつけていた
だき、皆さまが健康で楽しく
過ごされるようお願い年頭のご
挨拶とさせていただきます。

町に意見書を提出

12月12日(月)、町に「厚沢部町
施策に関する意見書」を提出
しました。意見書の主な内容
は下記のとおりです。



▶意見書の趣旨を説明する
相良会長と外崎会長代理

厚沢部町農業施策に関する意見書(一部抜粋)

1. 持続的で安定的な農業経営の確立に向けて

- (1) シストセンチュウのまん延防止や未然に被害を防止するための積極的な対策を。
- (2) 将来の有望作物であるサツマイモと併せて、主力作物であるカボチャのキュアリング施設整備の検討を。
- (3) 鳥獣被害に対応する狩猟者が高齢化し担い手不足が深刻化している。速やかに狩猟者の増員と育成強化を。
- (4) 整備促進が図られるよう事業に対する支援も含め、個人負担の軽減等に関する施策の要請を。

2. 多様な担い手の確保に向けた取組について

- (1) 経営規模拡大には農業機械や施設の大型化が不可欠。国費事業では対象外となる施設や機械等に助成を。
- (2) 新規参入希望者に対し就農支援施設の整備や体制強化、並びに、農家子弟後継者に支援する体制の強化を。
- (3) 農業後継者に対する花嫁確保について、更なる効果的な取組の拡大を。

3. 農業委員会体制の強化等について

- (1) 農業委員会制度の新体制後の運営や執行体制、委員の待遇や研鑽に必要な研修にかかる予算の増額を。
- (2) 今後も農業委員の農地諸制度及び実務研修の機会充実に向けた支援とともに、関係の諸制度・実務に精通した事務局職員の計画的な配置・確保を。

4. 関係機関・団体等に向けた要請について

- (1) 政府が進める農政改革やTPP対策について、農業者の将来に対する不安を払拭し、将来展望を見据え、意欲的に農業経営に取り組めるよう長期的な視点に立つ経営安定対策等について、一層の充実と拡大が必要であることから、持続的に農業経営が発展する制度や施策の拡大並びに法制化について引き続き要請を。

第4回町議会定例会

12月12日(月)から2日間、第4回町議会定例会が開催されました。主な議事内容は次のとおりです。

今定例会では、28年度各会計補正予算や条例の制定案等が審議されたほか、一般質問を中山俊勝議員、山崎孝議員、加藤古志男議員、佐々木宏議員の4氏が行いました。

なお、議事の詳細は、議会だより3月号でお伝えします。

一般会計予算を追加

28年度一般会計は予算額に1億9千3百9万円を追加

4氏が一般質問

し、総額48億4千4百60万5千円としました。主な内容は、人事院勧告に基づく職員人件費、上里ふれあい交流センター新築に伴う備品購入費、後継就農者奨励金、町内橋梁点検業務委託料、厚沢部小学校温水器取替工事費等です。

中山議員は『地域おこし協力隊』と『地域ブランドの確

立・取得』、『通学バスの更新』について、山崎議員は『少子化対策に係る子育て支援』と『認定こども園整備と発達障害時対策』について、加藤議員は、『中学校統合』と『学校図書基準財政需要額と決算額』について、佐々木氏は『田園回帰の実現への取組』と『集落を支援するプログラム』について質問。町長らと白熱した議論が交わされました。

まちづくり座談会

12月1日(木)から5日間、町内14会場でもちづくり座談会を開催。様々な意見等が寄せられました。

町では、町民の参加と協働によるまちづくりを推進し、厚沢部町に「住んでよかった」

「住んでみたい」「いつまでも住み続けたい」と思える、安全で安心して暮らせ、個性豊かで活力に満ちた『素敵な過疎のまち』を目指しています。

今年度も町内14カ所、まちづくり座談会を開催し、町民や議員等延べ185人が出席。まちづくりに対する

意見や要望、地域が抱える課題等について懇談しました。

なお、座談会冒頭、町より学校統合や総合給食センターの進捗状況、上里ふれあい交流センターの概要、農業委員会や国民健康保険制度の改正等について情報提供しました。

現在、町内会に町政要望の取りまとめを依頼しており、今後も町民の声を大切にまちづくりを推進していきます。



高齢者見守り、災害支援 セブンイレブンと協定

地域見守り活動に関する協定 物資供給等に関する協定



町とコンビニエンスストア大手のセブンイレブン・ジャパンは、12月8日(木)、高齢者らの見守り支援と災害時の食糧・日用品等の物資供給の協力に関する2つの協定を締結しました。

当町にはセブンイレブン厚沢部町店が本町にあります。が、協定締結により配達先や店舗を訪れる高齢者の異変を察知した際、町に連絡し対応。地震や風水害など大規模な災害が発生した際には、水や食糧等の支援物資が円滑に供給され、日常生活が守られます。

役場で行われた締結式には、浜田町長とセブンイレブン・ジャパンより福田陽一氏と西館敬氏、厚沢部町店の深見広三オーナーが出席。浜田町長は「高齢者が元気に安心して暮らせるよう地域住民の協力を得ながら政策を推進しているが、そこにセブンイレブンの支援が得られれば大きな支えとなり大変心強い」と謝意。深見広三オーナーは「地域に愛される店を目指し日々取り組んでいるが、今後も安全・安心な町づくりに貢献するため町と連携を密にしていきたい」と抱負を述べました。

なお、平成25年8月に発生した記録的豪雨による断水時には災害支援協定を締結していた北海道コカ・コーラボトリング(株)より飲料水が提供されました。給水所に来ることが困難な高齢者宅に配付し、災害時の不安が軽減され町民の生活が守られました。

民生委員・児童委員兼福祉委員名簿

地区名	担当委員氏名	電話番号
美和	佐々木 康 實	67-2420
富栄	門 間 紀美子	66-2250
松園町・上の山・緑町	杉 村 憲 子	64-3524
本町	佐 藤 祐 子	67-2901
新町1区	近 藤 良 信	64-3251
新町2区	泉 エツ子	64-3917
赤沼町1区	倉 谷 正 司	64-3357
赤沼町2区	替 地 秀 子	64-3961
上里	佐々木 祥 子	64-3051
滝野・稲見・清水	三 上 慶 光	67-2644
鶉	川 村 龍 子	65-6148
鶉町	三 上 良 子	65-6732
木間内・社の山・旭丘	東 谷 道 子	65-6170
相生・共和	森 高 貴 子	65-6011
新栄・当路	澤 口 安 秀	66-2734
南館町・城丘	大 森 たか子	66-2917
館町1区・中館(甲線)	谷 口 匡佐子	66-3677
館町2区・中館(乙線)	松 原 ケイ子	66-2254
館町3区	尾留川 ゆかり	66-2131
富里・須賀	渡 部 弘 子	66-2536

※本町の佐藤祐子さんと館町1区の谷口匡佐子さんには主任児童委員も委嘱されています。

民生委員・児童委員を改選 お気軽にご相談ください！

12月1日(木)、3年に一度の民生委員・児童委員の全国一斉改選を実施。厚生労働大臣と北海道知事より左記の20名の方が委嘱され、また、町からは厚沢部町福祉委員も委嘱されました。

民生・児童兼福祉委員は、高齢者や障がい者、ひとり親家庭などの福祉向上や児童の健全育成に向け、あなたの地域で身近な相談相手となり、地域住民と行政とのパイプ役を担います。

また、厚沢部町では70歳以上の独居世帯、80歳以上の高齢者世帯などを対象に1ヶ月に1回訪問し、安否確認を行う「愛のふれあい訪問事業」も民生・児童委員が担当しています。

各委員には守秘義務があり個人の秘密は守られますので、何か困りごとや悩みごとがありましたら、お気軽にご相談ください。



新会長
近 藤 良 信さん

退任された木下榮会長の後を引き継ぐことになりました。役場職員時代の平成23年6月以来、5年ぶりに民生・福祉業務に就くことになりましたが、幅広い活動を行う民生・児童委員は全くの素人です。

木下前会長を中心に運営してきた協議会の足手まといとならないよう、19人の委員と情報交換を図り、知恵を出し合いながら務めて参りますので、今後ともよろしく願います。

狩猟免許試験について

2月5日(日)、渡島振興局にて「狩猟免許試験」が開催されます。(申請期間は1月20日迄)

前回、都合がつかなかった方は、是非この機会に参加してください。

なお、猟友会江差支部では狩猟免許試験を受ける方のために、予備講習(試験対策)を実施します。予備講習への参加は任意ですが、しっかりと試験対策のために参加をお勧めします。



記

日 時 1月21日(土) 9時～17時
場 所 図書館視聴覚室

〔問い合わせ先〕

- 鳥獣被害全般に関すること
町農林商工課林業振興係(TEL:64-3314)
- 狩猟免許試験に関すること
渡島総合振興局保健環境部(TEL:0138-47-9439)

高橋建設に感謝状を贈呈 照明灯2基の長寿命化に寄与

町は、施設の長寿命化に寄与し、町道保全の向上に貢献した(株)高橋建設(高橋千尋社長)に対して、12月9日(金)、感謝状を贈呈しました。

同社は、経年劣化等が原因による町道当路新栄線の道路照明灯2基のサビや腐食防止のため、無償で塗装作業を実施し、町道の保全向上に多大な貢献をされました。



活動・功績を称えて

納税貯蓄組合 2 団体に 道社会貢献賞と檜山振興局長賞表彰

11月24日(木)、「北海道社会貢献賞」に鶴町納税貯蓄組合(三上敏勝組合長)が、「納税功労者檜山振興局長表彰」に富栄納税貯蓄組合(高田隆組合長)が選ばれ、それぞれ幡宮輝雄檜山振興局長より表彰状と記念品が伝達並びに贈呈されました。

いずれの賞も納税思想の普及高揚、自主納税の推進等に貢献したことが評価されたものです。



統計調査員・佐々木貞榮さんに 経済産業省及び道知事感謝状表彰

11月25日(金)、鶴町の佐々木貞榮さん(75)に「経済産業省所管功労調査員感謝状」と「統計功労者知事感謝状」が、浜田町長より伝達されました。

佐々木さんは、平成16年、統計調査員に委嘱され、工業統計調査や国勢調査など計16調査に従事。国や地域の状態を正しく示す、大切な情報が得られる統計調査に長年尽力してきた功績を称えられました。



スポーツ少年団活動報告

☆第35回南檜山少年柔道大会☆

〔11月26日(土)上ノ国中学校武道場〕

- 団体戦 小学校低学年の部 第3位
小学校高学年の部 第3位
〔陶山凌寛・沢野陽・高橋雷毅・石井透子・陶山凌久〕
- 個人戦 小学4年生の部 第2位 石井透子(厚)
小学6年生の部 第3位 沢野陽(厚)

☆檜山管内スポーツ少年団柔道大会☆

〔12月18日(日)上ノ国中学校武道場〕

- 個人戦
 - ①小学校1年生の部 第3位 柴田 依路(厚)
 - ②小学校3年生の部 第3位 陶山 凌久(厚)
 - ③小学校4年生の部 第2位 石井 透子(厚)
 - ④小学校6年生の部 第3位 石井 遼平(厚)
 - 小学校6年生の部 第3位 高橋 雷毅(厚)



人権作文 厚中4名が江差地区大会賞を受賞
コンテスト 厚沢部中学校には感謝状

第36回『全国中学生人権作文コンテスト函館地方大会』並びに『同江差地区大会』において、厚沢部中学校(大村徳則校長)1年の近藤美羽さんが江差地区大会優秀賞を、2年生の小形凌太郎さんと澤口あみさん、3年生の澤出紗妃さんが同奨励賞を受賞。12月20日(火)、同校で表彰状が伝達されました。

今回のコンテストには、道南の中学校27校より537名(江差地区大会には7校171名)が応募。多数の作品の中から厚沢部中の4名が選ばれました。

また、人権尊重の重要性和豊かな人権感覚を向上させる取組を長年にわたり厚沢部中学校が実践していることに対して、檜山管内で唯一、感謝状が伝達されました。



『小さな優しさ』

館町・西里加代子さんの孫・渡辺さくらさん(中3・川崎市在住)が祖父成男さん(28年7月28日永眠)のお見舞いに国保病院へ訪れた時の心境を作文に送ってくれました。内容を一部抜粋し紹介します。

私の祖父はパーキンソン病という原因不明の難病を抱え入院していました。パーキンソン病は脳が萎縮する病気で手の震えや歩行困難など様々な運動障害が出てきます。最終的には認知症に似た症状が見られ寝たきりになることも多くあります。病院には入院している人の身の周りの生活を手伝う介助員さんという人がいて入院している人が快適に過ごせるよう身の周りの手助けをしてくれます。私の祖父も病気のため介助員さんとお世話をしていました。

一昨年の夏休み、

町に届いた

祖父母のいる北海道に遊びに行った時のことです。一年ぶりに祖父に会いに病院

に行く、めったに会えない孫の姿を見てとても喜んでくれました。ですが、その数日後、もう一度病院を訪れると、祖父はあまり

元気がありませんでした。何か私達に話していました。力がなく、はつきりとは聞き

取れませんでした。パーキンソン病が進むと幻

覚なども出るため、私が話しかけても反応がなく、祖父との会話がなかなか成り立ちませんでした。しかし、介助員さんが来た途端、祖父は嬉

しそうにニタツと笑い、自分から介助員さんに話しかけ、介助員さんも笑顔でひたむきに聞き、

楽しそうに会話をしていました。

あつさぶ



oice

紹介します

れと同時に介助員さんの優しさに心

を打たれました。介助員さんは家族でも友達でもない祖父を思いやり、常に優しく明るく接してくれました。介助員さんの家族のような思いやりのおかげで祖父はもちろん私達家族も幸せな時間を過ごすことができました。

人の心を動かすのに特別な方法が必要なわけではありません。日常のどんな小さい出来事でも優しさを忘れず、ただ親身に寄り添えば人の心を強く動かすことができると思いました。感動とは小さな優しさの積み重ねだと思います。心を動かすことは簡単ではありませんが、私も小さなことでも優しさを持ちたいと思います。

江差警察署からお願い

冬には、高所での雪下ろし作業中の転落や屋根等からの落氷雪による下敷き事故、暴風雪に巻き込まれて命を落とすなどの悲しい被害があります。

江差警察署管内でも、昨年2月に屋根からの落氷雪で2名の方が怪我をしていますので、この種の事故を防止するため、次のことに十分気を付けてください。

『雪下ろし 外出前に 安全確認』

□ 屋根の雪下ろしは複数で

雪下ろしをする際には、ハシゴを支えてもらったり、子どもや通行人の安全を確認したり、万一の際の救助作業のため複数人で行い、転落事故を未然に防止しましょう。

□ 除雪機の使用は安全を確かめながら

除雪機に巻き込まれたり、下敷きになったりする事故が発生しています。除雪作業に適した服を着て、周囲の安全を確認しながら作業し、その場を離れる時は必ずエンジンを止めましょう。

□ 気象情報に注意

暴風雪や大雪警報が発表されたら、外出は避けましょう。

やむを得ず車で外出する時は、吹雪による見通しの悪化や吹きだまりなど、刻々と変化する冬道に合わせた安全運転に心掛けましょう。防寒着や長靴、手袋、スコップ、牽引ロープを用意し、天候急変による立ち往生に備えましょう。

豊穰を感謝。健康と平穏を祈願

各神社『新嘗祭並びに年越祭』を実施

11月19日(土)から12月11日(日)にかけて、町内14地区の神社で『新嘗祭(にいなめさい)』と年越祭(山の神祭)』を実施しました。

12月11日(日)は、八幡神社(美和)と大山祇(おおやまつみ)神社(当路)を姥神大神宮より神職2名が訪れ、本年の豊穰と無事に感謝し、新年の健康と平穏を祈願しました。

神職の鈴木利行さんは「来る年も皆さま元気で良い年となりますように」と祈禱。神社総代ら参拝者も思い思い祈念し、玉串を奉奠(ほうてん)しました。



八幡神社福田武弘総代による玉串奉奠の様子



おじいちゃんのスピードの速さに驚きの表情

人生の先輩と貴重なひと時

館中3年生が福祉ボランティアを実施

12月6日(火)、館中学校(太多弘之校長)の3年生が『ゆいま〜る厚沢部』を訪れ、総合学習の一環で福祉ボランティアを行いました。

ボール回しや百人一首ではホール内は大盛り上がり。紙芝居を上手に披露した伊勢谷萌さんは「最初は緊張したけど、とても楽しく充実した時間でした。たくさんお話でき人生のアドバイスももらえました」と述べ、ゆいま〜る厚沢部赤石ハウス長は「地域の方々とふれあいを大切にしています。是非施設に足を運んで欲しい」と話してくれました。

若手農業者らが農業の魅力を発信

道南農業の将来について語り合う

12月7日(水)、『道南地域の農業の将来について語り合うセミナー(北海道農政事務所函館地域拠点主催)』が、町民交流センターで開催され、農業者等約80名が参加しました。

道南の若手農業者と関係職員によるパネルディスカッションでは、今後の目標や担い手確保に向けた意見等が紹介されました。

熱心にメモを取っていた町農協青年部の伊藤明博さんは「温暖化が及ぼす影響について参考になった。今後も気象条件を意識して営農していく」と意気込みを語りました。



役場農林商工課荒木敬仁氏も先進事例を発表



紙芝居『白い魚とサメの子』を熱心に聞き取る

人の良い所に気付く心を育む

厚沢部小学校で『人権教室』を開催

12月7日(水)から12日(月)にかけて、厚沢部小学校(岡村宏安校長)1年生から5年生を対象に『思いやりの心を育てる人権教室』を開催。講師は町人権擁護委員の土谷氏、岩田氏、松島氏の3名が務めました。

7日(水)の3年生の道徳を土谷委員が担当。紙芝居を用いて「自分らしさを大切に。友達の良い所を気づき教えてあげて」と伝え、お互いの良い所を発表し合い、早川李哉君は青木怜音君の「文句を言わず最後まで頑張る所」など多くの長所を伝えていました。



美和小閉校後も継続していくと地域の繋がりは頼もしい

地域の伝統行事を絶やさずに

美和小学校で『クリもち会』を開催

12月11日(日)、美和小学校(清水勝也校長・児童4名)で、美和地区の伝統行事『クリもち会』が開催され、地域住民ら約50名が参加しました。

当日は、昔ながらに臼と杵を使って餅をつき、鏡餅を作ったり雑煮を食べたりと正月行事を体験。その後、湯田サンタさん(新町)が急遽会場を訪れ、クリスマスプレゼントが贈られました。

一生懸命餅をついていた洪田佳志くん(6歳)は「杵は重たかったけど、餅をつく感触が気持ち良かった」と元気に話してくれました。

鶏保育所の子どもたち大喜び

第一生命労働組合が絵本を寄贈

12月16日(金)、第一生命労働組合函館支部(内藤要一執行委員長)より2名が鶏保育所を訪れ子ども達に絵本セットを贈りました。

第一生命労働組合函館支部は、平成6年度より毎年チャリティーバザーを開催。今年度も8月に函館市でバザーを開催し、収益金の一部で絵本セットを購入して寄贈しました。

贈呈式では、川口優悠ちゃん(6歳)が保育所を代表し受け取り、保育所全員の元気な歌声で感謝の気持ちを伝えました。



毎年ご寄贈いただき心より感謝申し上げます。



あゆみの巨大ツリーの前でサンタさんとともに

良い子のみんなにプレゼント

うさぎサークル『クリスマス会』を開催

12月20日(火)、うさぎサークル『クリスマス会』が保健福祉センターあゆみで開催され、親子13組が参加しました。

うさぎサークルでは、就学前のお子さんをお持ちのお母さん方の交流とお子さん同士の遊びの場を提供しており、今年度は29組34人が登録(登録料無料)。定期活動は毎週水曜日の午前10時から正午まで、保健福祉センターあゆみで行っています。

うさぎサークルに興味・関心のある方は、保健福祉センター内の保健福祉課健康増進係・保健師(Tel. 64-3319)へ、お気軽にお問い合わせください。

ほっこりさつまいもを皆さんで

町内農業者有志がさつまいもを寄贈

12月20日(火)、渡部要氏(富里)らが、町とゆいま〜厚沢部、あっさぶ荘を訪れ、さつまいも計6箱を寄贈しました。

さつまいもは焼酎喜多里の原料として契約栽培されていますが、焼き芋や干し芋などとして販売できないかと町内農業者5名が研究。今年初めて作付し収穫に成功した黄金千貫・紅はるか・シルクスイートを入居者に食べてもらおうと持参しました。ゆいま〜の菊池勇子さん(91歳)は「厚沢部産さつまいもが食べれるなんて」と喜んでいました。



あっさぶ荘の中野隆俊施設長に寄贈。さつまいもを前にほっこり笑顔

活性化センターだより

新時代の農業技術について

11月30日から12月1日にかけて、札幌市で『スマート農業フェア』が開催されました。

スマート農業とは、ロボット技術やICT(情報や通信に関する技術)を活用した新たな農業のことで、担い手の減少、進む高齢化への対策として近年注目を浴びています。具体的には、GPSガイダンスやトラクターの自動操舵、ドローン、アシストスツ等、様々なものがあります。

その中の1つであるGPSガイダンスはトラクターのカーナビのようなもので、トラクターの運転席に画面を設置し、そこに進行方向を表示するものです。自動操舵装置を追加することで、直進時のハンドル操作を機械が自動で行うようになります。これにより、走行の重複、抜けが無くなり、耕起、播種、防除といった幅広い面で作業を正確に行うことが出来ます。そのた

のため目視が難しくなる夜間の作業や経験の浅いオペレーターによる作業も可能になります。

導入コストはおよそ200〜300万円とされており、利用してどう所得に繋げるかを検討する必要があります。作業効率を上げた分、規模拡大を目指す、作付品目を見直すなど、目的を明確にして導入することが重要です。

【農業振興係 田中 将之】



▶GPSガイダンス(ハンドルの横に進路を示す画面)

法テラス江差通信

労働問題について

Vol.62

今回は、有給休暇や時間外勤務などの労働問題についてお話しします。

年次有給休暇について

みなさんは、有給休暇を取っていますか？

年次有給休暇は、6か月継続して勤務し、かつ、労働日の8割以上勤務した労働者に対して、有給休暇を10日分付与することを労働基準法(39条1項2項)が定めています。

もっとも、労働者が希望する日に必ず有給休暇を取得できるとは限りません。使用者側の業務遂行が滞ってしまう場合があるからです。そのため労働基準法では、有給休暇の付与が「事業の正常な運営を妨げる場合」には年次有給休暇の時期を変更することができると定めています(同39条5項ただし書き)。

残業代の支給について

残業代についても法の定めがあります。法は、時間外、休日、深夜労働に関する使用者の割増賃金支払義務を定めています(同37条)。ただし、労使協定で変形労働時間制が定められている場合は別途検討を要します。

時間外労働とは1日8時間週40時間を超える労働をいいます。また、深夜労働とは午後10時から午前5時までの労働をいいます。

仕事と生活の調和を

仕事は、私たち労働者の生活を支え、生きがいや喜びを与えてくれるものでもあります。ですが、仕事のし過ぎはかえって私たち労働者の生活を脅かす可能性もあります。

仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の実現が住みよい社会の実現につながる

▼債務整理・後見制度・離婚手続き・相続などに関するご相談は法テラス江差事務所へご連絡ください。

のではないのでしょうか。住みよい社会の実現のために、労働者も使用者も、まずは法に定められた事項を遵守することが第一歩につながるのではないかと考えます。

有給休暇や残業代請求に関するご相談、そのほか解雇や退職勧奨に関するご相談など、労働問題に関するご相談がありましたら、当事務所にお越しく下さい。

収入要件を満たすなど場合によっては無料で法律相談を受けられる場合があります。まずは、お気軽にご連絡ください。

ご相談のご予約は、050-33383-5563へ

【法テラス江差

弁護士 廣田 朋子】

ねんきん講座

新成人の皆さん国民年金の加入手続きを忘れずに

国民年金は、老後の所得保障だけでなく、病気やけがで重い障害が残った時などにも年金を支給し、思いがけない人生の「万が一」もサポートする公的年金制度です。

『義務と権利』

日本国内にお住まいの20歳から60歳までの全ての方は、国民年金に加入して保険料を納付する義務があり、年金を受け取る権利があります。

『加入の手続き』

学生や自営業者などの第一号被保険者となる方は、お住まいの市・区役所、役場で直接、手続きをしてください。

サラリーマンや公務員の第二号被保険者の方や、その第二号被保険者に扶養される配偶者の第三号被保険者の方は勤務先の事業所が加入手続きを行いますので、個別の手続きは必要ありません。

『保険料の猶予・免除』

学生であるなど収入が少な

いために国民年金保険料の納付ができない場合は、申請により保険料の納付が猶予・免除となる制度があります。この申請を行わないまま保険料が未納となつてしまうと「万が一」の時、障害年金が受け取れないなどの思わぬ事態を招きますのでご注意ください。

「学生納付特例制度」は、所得がない学生の方ご本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。年金を受け取ることができなくなることや不慮の事故等により障害が残ってしまった場合に、障害基礎年金を受け取ることができなくなることを防止するための制度です。経済的な理由等により保険料の納付が困難な方のために「保険料免除制度」や「若年者納付猶予制度」もあります。

☆ご不明な点は、保健福祉課 住民年金係へ、お気軽にどうぞ ☎ 64-3313

あつさぶ文化財情報

ガムシ沢はほんとうの俄虫か？

「ガムシ」という地名で最初に思いつくのは「ガムシ沢」と呼ばれている場所です。



ここは太鼓山スキー場のすぐ横にある小さな沢で、溜池の上流はエゾノリュウキンカやミズバショウが咲く景勝地としても知られています。

キトピロなどの山菜やドングリになるミズナラなどの広葉樹も多く、たしかにクマ(＝キムン・カムイ)が好みそうな場所です。



こうしてみると、現在「ガムシ沢」と呼ばれている場所が「ガムシ」発祥の地と考えるのですが、話はそう簡単ではありませんでした。

来月号へ続きます。

【学芸員 石井 淳平】

平成27年新春 町内鹿子舞交流会 中止について

毎年1月に開催してきました恒例の町内鹿子舞交流会ですが、演舞団体の出演都合がつかず、やむを得ず中止することといたしました。楽しみにお越しいただいている町内外の皆さまには大変申し訳ありませんが、ご理解くださいますようお願いいたします。

次回、平成30年の交流会につきましては、万難を排して開催する所存でございます。会員一同、一層の精進を重ねてまいりますので今後とも宜しくお願い申し上げます。

厚沢部町鹿子舞交流協議会

会長 浜谷 栄





食改さんのコメント

たっぴりの野菜を大根おろしとポン酢でさっぱり食べられます。

えのき茸のほか、色んなきのこ類を使ってみるのもおすすめです。



今月の簡単レシピ

ほうれん草と えのきの おろし和え

生活改善
協議会

エネルギー	40kcal
たんぱく質	4.7g
脂質	0.4g
炭水化物	5.9g
塩分	0.9g

【材料】

(4人分)

ほうれん草 200g

人参 50g

えのき 1袋

しらす干し 40g

大根 400g

ポン酢 大さじ1と1/2

【作り方】

- ①ほうれん草はさつとゆでて水に取り、水気を絞って3～4cmの長さに切る。人参は同様の長さの千切りにし、えのき茸は石づきを取ってざく切りする。
- ②フライパンを中火で熱し、人参、えのき茸、しらす干しを入れ、さっと炒め、ほうれん草を加えてさらに炒めて、皿に移す。
- ③ボウルに大根をすりおろし、軽く水気を切る。②と大根おろし、ポン酢を加え、和えたら器に盛る。

図書館
新情報

おすすめ図書

新年、明けましておめでとうございます！今年の十二支は、「酉（とり）」。今月号では、鳥や動物の楽しい本をご紹介します。

おもしろい！進化のふしぎ
ざんねないいきもの事典

(今泉忠明 監修)



えぞふくろうのきもち

(横田 雅博 著)

ざんねないいきものとは、一生懸命なのに、どこか残念な生き物たちのことである…。

進化の結果、なぜかちよつと

残念な感じになってしまった122種の生き物たちを紹介。

思わず誰かに言いたくなる、

生き物たちのオモシロ情報満載！

北海道の自然を生き抜く、エゾフクロウのかわいい姿を集めたミニ写真集。

ヒナの巣立ちや独立立ちを

中心に、四季を通してフクロウの1年を追っていく。

※同時発行の「えぞももんがのきもち」もあります。

●雑誌棚の表面に配置している最新号は貸出できませんが、バックナンバー(過去の雑誌)は貸出可能です。

最新号を間違って持ち帰らないよう、ご注意ください。

●問合せ先 図書館(直通) ☎ 64-3436

つちはし自然観察教育林
観察会のお知らせ

●11月27日(日)、『秋のレク森ハイキング』を開催しました。

●今年は例年よりも降雪が早く、観察会当日も一面雪に覆われた中での散策となりました。

雪の上には特にキタキツネやホンドテンの足跡が多く残っており、「エサを探しているのかな？」などと彼らの行動を想像しながら足跡を辿ったりもしました。

教育林の最深部にあるブナ婆さんまで往復約2.7キロありますが、時々雪で滑りそうになりながら、参加者の皆さんと初冬のレク森を元気に歩きました。

フナ婆さんでパチリ！雪の中を歩くのも楽しいですね。

●次回1月22日(日)は、定例観察会『冬の森たんけん(スノーシュー歩き)』を開催します！

●問合せ先 教育委員会社会教育係 ☎ 64-3318



フナ婆さんでパチリ！雪の中を歩くのも楽しいですね。

行事

お知らせ

1

精神保健相談のお知らせ

北海道江差保健所では、専門の医師や保健師を相談員として、次のとおり精神保健相談（こころの健康相談）を開設します。相談を希望される場合は、1月12日（木）午前中迄に事前に申込み願います。なお、開設日以外でも保健師による相談は随時対応していますので、お気軽にご相談ください。

- ◆ 日程 1月17日（火）
- ◆ 時間 15時～16時
- ◆ 場所 北海道江差保健所
- ◆ 相談料 無料
- ◆ 問合せ 北海道江差保健所
☎ 52・1053

町立保育所と国保病院の臨時職員の募集について

町では、町立保育所臨時保育士と国保病院臨時看護師・准看護師を募集しています。勤務条件等の詳細は町ホームページでご確認いただき、履歴書を町ホームページよりダウンロードの上、必要書類とともに、左記係へ提出してください。

- ◆ 保育士の問合せは、生活環境係（☎ 64・3319）へ
- ◆ 看護師の問合せは、国保病院（☎ 64・3036）へ

運転免許更新講習

江差町文化会館

- 1月12日（木）
- ◆ 優良運転者講習 13時～13時30分
- ◆ 違反運転者講習 14時15分～16時15分
- 1月24日（火）
- ◆ 優良運転者講習 13時～13時30分
- ◆ 一般運転者講習 14時～15時
- ◆ 初回運転者講習 15時45分～16時45分

檜山地域人材開発センターからのお知らせ

○フラダンス教室

- ◆ 日程 1月11日（水）・25日（水）
- ◆ 時間 10時～12時
- ◆ 定員 20名

◆ 受講料 各2,000円

- ◆ 申込締切 各実施日前日迄
- パソコン初心者講座
- ◆ 日程 1月24日（火）～27日（金）
- ◆ 時間 18時30分～20時30分
- ◆ 定員 10名

◆ 受講料 6,000円

- ◆ 申込締切 1月8日（木）迄
- こども英語教室
- ◆ 日程 1月12日（木）・13日（金）
- ◆ 時間 16日（月）～20日（金）
- ◆ 時間 14時00分～15時00分
- ◆ 定員 10名

◆ 受講料 無料

- ◆ 申込締切 各実施日前日迄

働いている調理師の方へ調理師就業届出について

調理業務に従事している調理師の方は、2年毎に『調理師業務従事者届』を提出することが調理師法で義務づけられており、今年が届出の必要な年です。平成28年12月31日現在の状況を書き込み、1月15日（日）迄に届け出てください。

- ◆ 届出が必要な調理師の方 寄宿舎、学校、病院、事業所、社会福祉施設、介護老人保健施設など多数人に飲食物を調理し供与している施設や飲食店、魚介類販売業などの店舗で調理業務に従事している方

◆届出方法

届出用紙に必要事項を記載し、左記へ提出してください。インターネットでの届出も可能です。町ホームページにアクセスし提出してください。

- ◆ 届出・用紙の配置・問合せ先 ○北海道全調理師会江差支部 江差町字新地町103の2

☎ 52・2583

☎ 52・1053

『江差警察署フェスタ2017 in上ノ国』のお知らせ

「110番の日」の啓発イベント『江差警察署フェスタ2017 in上ノ国』を開催します。

イベントでは正しい110番のかけ方を楽しく学べる寸劇、警察官の制服や装備品を紹介する『ポリコレ』のほか、管内中学校や高校吹奏楽部による演奏、北海道警察音楽隊力ラーガード隊を招いてのドリル演奏などを行います。

入場料は無料。お子さんから大人まで楽しめる内容ですので是非ご来場ください。

- ◆ 日時 1月8日（日）10時～12時

◆ 場所 上ノ国町総合福祉センター

- ◆ 問合せ先 江差警察署
☎ 52・0110

北海道電力からお願い

今冬は、電力の安定供給に最低限必要な供給予備力3%以上を確保できる見通しですが、引き続き「無理のない範囲での節電」にご協力いただきますようお願いいたします。

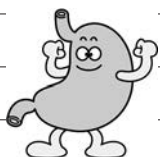
道立江差病院(☎52-0036)診療予定



1月の外来診療



診療科	診療日
整形外科	午前 月～金曜日
循環器内科	午前 月～金曜日 午後 月・金曜日
消化器内科	午前 月～金曜日 午後 火曜日
呼吸器内科	午前 金曜日 午後 木曜日
総合診療(外科)	午前 火～木曜日(外科は13日のみ)
小児科	午前 月～金曜日(午後の受診は要連絡)
泌尿器科	午前 月～金曜日 午後 水曜日
精神科	午前 月～金曜日 午後 月曜日
産婦人科	午前 月曜日～金曜日
耳鼻咽喉科	午前 4・11・12・17・18・25・26・31日 午後 11・25日
眼科	午前 12・19日(予約以外は10時迄に受付) 午後 11・18・25日
皮膚科	午前 火曜日
神経内科	終日 6・20日



受付時間 午前・・・8時00分～11時30分(初診の人は9時00分～)
午後・・・13時00分～14時30分

※予約受付時間(定期患者のみ) 13時00分～16時00分
※年末年始のお休みは、12月29日～1月3日です。
※診療日や担当医は予定であり、変更になる場合があります。事前に病院へ確認の上、受診してください。

★★★ 職員募集のお知らせ ★★★

臨時および看護師職員、臨時看護助手を常時募集中！
離職者でも、正職員として再就職可能です。
詳しくは、総看護師長 中野へ【☎52-0036(内線202)】
助産師、薬剤師、臨床工学技士も募集中！
今後の職員試験実施予定日は、1月21日(土)です。
北海道病院管理室ホームページでご確認願います。

国保病院(☎64-3036)診療予定



1月の外来診療



診療科	診療日	休日
内科	月曜日～金曜日	3日(火)～5日(木) 土～日・祝祭日
眼科	10日(火)・11日(水) 17日(火)・18日(水) 24日(火)・25日(水) (事前予約必要)	3日(火)・4日(水) 31日(火) 月・木～日・祝祭日

受付時間 午前・・・8時30分～11時30分
午後・・・13時30分～15時00分

※診療日は予定であり、医師の出張などで変更する場合があります。事前に病院にご確認ください。

※眼科診療は事前に予約していない方も診療日当日の予約に余裕があれば、受診が可能な場合もありますので、お問い合わせください。

【無料送迎バスのご案内】

国保病院と館・鶴地区を往復する無料送迎バスを下記のとおり運行していますので、ご利用ください。

運行日 週2回(火・木曜日)

停車場 出発時間

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 行程 | ① 旧館診療所前 | 午前8時30分 |
| | ② 館地域振興センター | 午前8時30分過ぎ |
| | ③ 鶴学校前バス停 | 午前8時50分 |
| | ④ 鶴地区研修センター | 午前8時50分過ぎ |
| | ⑤ 国保病院 | 午前9時10分 |

※帰路は利用者全員の診療が終わり次第出発します。
(帰路順:国保病院⇒館地区⇒鶴地区)

1月1日から施行

育児・介護休業法および男女雇用機会均等法が改正

育児・介護休業法が1月1日から改正施行され、より育児・介護と仕事の両立がしやすくなります。主な内容は次のとおりです。

- ① 介護休業が3回を上限として分割取得可能(通算93日)
- ② 介護休暇・看護休暇が半日単位で取得可能
- ③ 介護のための所定労働時間の短縮措置(選択的措置義務)が介護休業とは別に利用開始から3年の間で2回以上利用可能
- ④ 介護のための残業免除が新設
- ⑤ 有期契約労働者の育児休業・介護休業の取得要件の緩和(取得できる対象者が拡大)
- ⑥ 上司・同僚からのいわゆるマタハラ・パタハラ等を防止する措置を義務づけ等

なお、改正内容の詳細は厚生労働省北海道労働局ホームページ(<http://hokkaido-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp>)でご確認ください。

<パタハラの実例>

発言

「奥さん働かせて自分が休むの？」

「父親の出番は今じゃない」

「職場で居場所が無くなって働きづらくなるぞ」

「おまえの娘の発熱で社員が不幸になる」

不利益待遇

■減給・降格

■希望しない転動

■昇格停止

■退職勧奨される

厚沢部町ふるさと納税寄附状況

(12月20日申込分まで)

今月の寄附件数	4件
今月の寄附金額	50,000円
平成28年度寄附件数累計	24件
平成28年度寄附金額累計	760,000円
前年度寄附金額	5,690,000円

戸籍の窓

(12月20日届出分まで)

いつまでもおしあわせに！



若 佐 慎 吾さん 八雲町
鳥谷部 尚 美さん 赤沼町

おたんじょうおめでとう！

新 町 中 山 也馬斗くん 11/16
(博之さん・麻美さんの子)



おくやみもうしあげます

新 町 飴谷 貞雄さん(94歳) 11/25
上 里 佐藤 富嗣さん(77歳) 12/17
館 町 伊勢谷トキさん(93歳) 12/17

町の人口

平成28年11月末日現在

	世帯	男	女	人口	前月からの人口増減
下地区	1,180	1,136	1,264	2,400	(-2)
鶉地区	341	352	359	711	(±0)
館地区	479	478	521	999	(-2)
全 町	2,000	1,966	2,144	4,110	(-4)

※外国人住民を含む

厚沢部町交通事故死 ゼロ記録簿

平成28年12月20日現在

連続	732日
----	------

『飲酒運転をしない、
させない、許さない』



▲ふるさと厚沢部町を応援を！
詳しくは町ホームページ
<http://www.town.assabu.lg.jp>
ご確認ください

●ふるさとづくり寄附金
相模原市・法政大学現代福祉学部2年生(学園祭出店「カンペシーノあつさぶ」収益金より) 10,000円
●社会福祉協議会へ
☆御香料のお礼に代えて
新町・飴谷カツエさんから 50,000円

善意感謝致します

65歳以降の定年引上げや継続雇用制度の導入を検討している事業主の皆さまへ

概要

「65歳超雇用推進助成金」は、高齢者の雇用促進を目的として、65歳以上への定年の引上げ、定年の定め廃止、希望者全員を対象とする66歳以上の継続雇用制度の導入のいずれかを導入した事業主に対して行う助成制度です。

支給額

定年引上げ等の措置の内容に応じて、下表の金額を支給します。

65歳への定年引上げ	66歳以上への定年引上げまたは、定年の定め廃止	希望者全員を対象とする継続雇用制度の導入	
		66歳～69歳	70歳以上
100万円	120万円	60万円	80万円

※定年引上げと継続雇用制度の導入を合わせて実施した場合でも、支給額は定年引上げを実施した際の額となります。

【問合せ先・ご相談・申請等について】

独)高齢・障害・求職者支援機構 北海道支部(TEL 011-622-3351)

平成28年分所得税等の確定申告と 確定申告書にマイナンバーの記載が始まります

2月16日(木)より『平成28年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告の相談及び申告書の受付』を行います。確定申告書は、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で作成することができ、給与所得や年金所得のみの方専用の操作しやすい画面もありますので是非ご利用ください。

また、今年から申告をする方や扶養親族の方などのマイナンバーの記載が必要になります。確定申告書を提出する際には、申告者の本人確認書類の提示か写しの添付が必要になりますので、事前にご準備ください。

【本人確認書類の例】

(1) 郵送等の場合

例1) マイナンバーカード(表面及び裏面の写しの添付が必要)

例2) 通知カード+運転免許証か被保険者証等(両方の写しの添付が必要)

(2) 税務署窓口で提出する

上記(1)の例1及び例2の書類の提示により本人確認が可能

【問合せ先】 江差税務署(江差町字姥神町167番地1 TEL 52-0078)

(受付時間 9時～17時)

当番日	病院名	電話番号
1日(祝)	厚沢部町国保病院	64-3036
2日(祝)	道立江差病院	52-0036
3日(祝)	佐々木病院	52-1070
8日(日)	乙部町国保病院	62-2331
9日(祝)	勤医協江差診療所	52-1366
15日(日)	上ノ国診療所	55-2017
22日(日)	道立江差病院	52-0036
29日(日)	道立江差病院	52-0036

ますので予め確認願います。

休日当番医について

☆☆☆南部桧山清掃センターからのお知らせ☆☆☆
1月14日(土)・28日(土)は休日のため、施設への搬入はできません。
ごみ収集カレンダーにも掲載していますので、ご確認ください。
問い合わせ先: 南部桧山清掃センター(☎53-6301)

フォトコンテストinあっさぶ

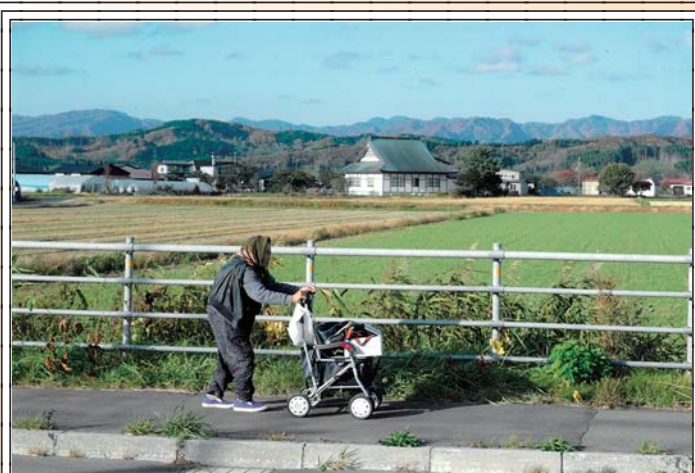


最優秀賞「じーっとしてろよ」小菅正勝さん

厚沢部町の魅力を写真で伝える『第6回フォトコンテストinあっさぶ』（教育委員会主催）の表彰式が、11月3日（祝）に行われ、6名13点の応募作品の中から、最優秀賞に小菅正勝さん（緑町）、優秀賞に鹿能正治さん（富栄）、教育委員長賞に千山雄人さん（鶉町）が選ばれました。最優秀賞の小菅正勝さんは「レベルの高い作品ばかりで選ばれるとは思っていなかった。非常に嬉しい」と写真の次男・陽太君（小4）とともに笑顔で話してくれました。



教育委員長賞「雲海」千山雄人さん



優秀賞「元気な92歳」鹿能正治さん

あとがき

▼「2016（平成28）年はどんな一年でしたか？」これまでの自分は年の瀬になると「来年は〇〇な一年にしよう」と翌年の抱負は考えるものの反省やふり返りはしていなかった。今回、2〜3頁の新春特集『行く年あつさぶの一年』を作成するにあたり広報を何度も読み返すと出てくるのは反省ばかり。広報担当2年目を迎える今年は締切に追われないよう文章やレイアウト技術を向上させて時間と心の余裕を生み出し、町民の生の声をより伝えるため更に多くの現場に出向きたい。

▼11頁の『小さな優しさ』は中学3年・渡辺さんの作文。そこには国保病院のスタッフや「患者の心に寄り添い患者が何を望んでいるのか何をすれば嬉しいのか」を常に考え行動している様子が書かれていた。『相手目線』思いやる心』言葉にするのは簡単だが容易にできる事ではない。渡辺さんも親身に寄り添う介助員の優しさに気付く感謝の気持ちに素直に書かれていた。介助員と渡辺さんが持つ「優しさ」と「行動（表現力）」に感動。本年の私のモットーとする。

▼「皆さんはどんな年にしたいと願っていますか？」皆さんにとって『広報あつさぶ』や『町ホームページ』が役に立つ情報源、身近な存在となるよう努めますので本年もご愛顧の程よろしく願います。（三）

